

地域ケア個別会議を活用した支援事例について

	包括名	会議 開催 年度	課題の背景・要因	検討結果	課題解決に向けた取り組み (方向性)	成果	今後の課題 地域課題
1	中部北	R7	・要介護1、独居 ・認知症あり ・金銭管理ができず、亡き娘の知人が2000万以上搾取し、その他、同行してクレジットカードを何枚も作らせていた。 ・介助なしで、買い物・掃除等できない。 ・人の介入を嫌がる。	・介護保険サービス、包括、民生委員による訪問を行い、知人が訪問しているかどうかの確認と、ご本人との関係性を構築し、出来る範囲での関係性を構築する。	・金銭は横浜に住む、弟に管理してもらい、必要に応じて送金してもらう。 ・ヘルパーを毎日(定期巡回)入れ、日常生活の支援や見守りをしてもらう。 ・民生委員・包括も定期的に訪問する。 ・知人が訪問しているのを見かけたら警察へ連絡。	・その後転倒骨折し施設入居し間もなく死去したが、毎日のように訪問介護が入り、買い物等の生活支援が送れた。 ・包括、ケアマネ、民生委員も協力しながら訪問する事により、知人の訪問が見られなかった。 ・精神面が安定した。	・認知症で独居の高齢者はだまされる心配がある。
2	東部南	R7	・家族による虐待疑いとして介入後、評価会議を経て経過観察となった ・KPである長女や本人の精神状態により関係が悪化 ・長女の精神状態やこだわりにより関係機関との関係構築が困難となる	・養護者支援として長女へのアプローチ、傾聴 ・本人のサービス増(SS等) ・関係者の変更	・長女へのアプローチ(CM、包括、長女の主治医としてのDr、NS)複数で役割分担し実施 ・長女の介護負担軽減目的も含め、サービス増に慣れ本人と離れる時間を増やす ・施設入所に対して繰り返し話し合いを実施	・関係者間で本人と長女に関する役割分担を行ったことで、養護者支援につながり、長女の精神的安定を図ることができた ・役割分担の上、新たな人間関係構築を実施したことで、関係者と家族との信頼関係を築くことができ、分離につながった	・精神疾患等の課題を抱えた養護者支援